



「輝け！橋っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

冬の耐寒かけ足練習が終わりました。今年は12月第1週に寒い日がありましたが、日中は比較的暖かい日に恵まれ、子どもたちは自分のめあてに向かって毎日楽しく走ることができました。12月10日(水)には福井小学校との交流持久走大会もあり、日頃の練習の成果を十分に発揮することができました。冬休みまであと8日。学校に来るのは6日間です。2025年もあと少し。子どもたちには、「よくがんばった一年だった」と言えるよう、しっかりと学習のまとめに取り組んでほしいと思います。

福井小学校との交流持久走大会を実施しました！

12月10日(水)、JAアグリあなん陸上競技場で、福井小学校との交流持久走大会を実施しました。昨年に引き続き2回目の交流持久走大会でしたが、素晴らしいコンディションの競技場で走ることができること、福井小学校の子どもたちと競い合えることから、いつも以上に子どもたちはがんばり、全員が無事に完走することができました。また、自分の走りをがんばることはもちろん、一生懸命友達の走りを応援する姿も立派でした。さらに、走り終えた後、両校の子どもたちがお互いの健闘をたたえ合う姿も見られ、交流持久走大会のよさを随所に感じることができました。

持久走は、「自分とのたたかい」と言われます。「苦しい、もうやめよう」と思うのも「まだやれる、頑張れる」と思うのも自分次第。頑張れる自分を支えてくれるのは日頃の練習です。全員がしっかり練習して持久走大会に臨んでくれたのだと感動しました。また、「友達の応援でがんばれた」と話す子どももいました。自分の頑張りと友達の応援で完走した両校の子どもたち全員に心の底から拍手を送りたいと思います。そして、「感動をありがとう」と伝えたいと思います。



1・2年生のスタート。



一生懸命走る1・2年生。



3・4年生のスタート。



抜きつ抜かれつの好レース。



スタート前に円陣を組む5・6年生。



5・6年生のスタート。



気迫溢れる走りを見せる6年生。



両校児童全員で記念撮影。

阿南第二中学校区特別支援学級交流会

12月8日(月)、山口小学校で、阿南第二中学校区特別支援学級交流会がありました。橋小学校からは4人が参加し、山口・桑野・椿小学校の友達と、回る紙皿作りやジャンケン陣取り、ボール送りゲームなどをして交流を深めました。橋小学校の子どもたちはプレゼント係を担当しました。皆にガラポン抽選器を回してもらい、心を込めて折った折り紙細工のサンタクロース付きのプレゼントを次々に渡していました。互いのいいところを褒め合ったり、ゲームで協力し合ったりと、とても仲良くなれた子どもたち。楽しい時間はあっという間に過ぎ、お別れとのときには「また、来年ね。」と言葉を交わしていました。来年の交流会まで、それぞれの学校で楽しく勉強をがんばってほしいと思います。



ボール送りゲーム。



プレゼント抽選会。

鶴○さんのお話を聞く会

12月5日(金)、橋小学校で長年養護教諭としてお勤めされ、今年10月に100歳を迎えた鶴○さんをお招きし、5・6年生の子どもたちに、ご自身の戦争体験についてお話を聞いていただきました。1945年8月6日、看護師として広島市で働いておられた鶴○さんは原爆が投下された際、爆心地から遠いところにいたため奇跡的に無事でしたが、被爆して焼けただれた多くの人々の救護にあたられました。「一瞬で人間が真っ黒こげになってしまう」「焼けただれた皮膚にウジ虫がわく」「一瞬で何万人もの命を奪ってしまう」原爆の恐ろしさ、戦争の愚かさを声を振り絞り伝えてくださった鶴○さん。「地獄とはこのことか。今も思い出すとつらくて涙がでる。」と静かに語られました。「戦争は絶対に起こしてはならない」と子どもたちに直接伝えたいと、今回のお話を引き受けました。子どもたちは初めて聞く戦争体験者のお話を真剣に受け止めてくれました。「戦争を二度と起こさない」「平和な世界を守っていく」との決意をこれから先もずっと持ち続けてほしいと願います。



鶴○さんのお話を真剣に聞く子どもたち。



戦争の恐ろしさを話される鶴○さん。